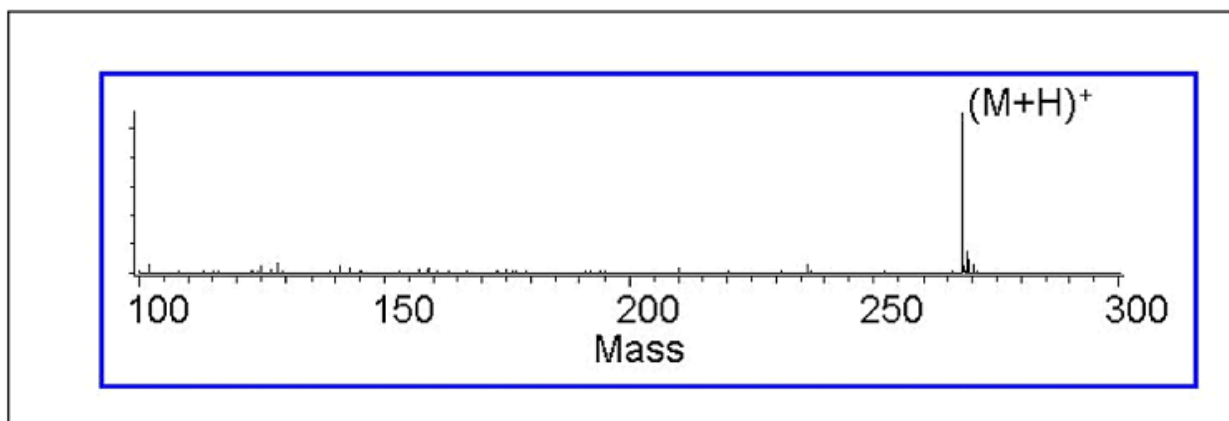


～Application Note for DART～

物質表面の化学兵器物質の検出

化学兵器物質の検出のための DART イオン化法を用いた実験は、いくつかの G、V、そして HN シリーズの物質で予備研究を行なっている。ここで示す例は American VX を多孔質コンクリートに添加した検体を用いたものである。分析対象成分はプロトン付加イオンとして数秒後に検出され、そのときの S/N は 100,000 以上であった。(図) このとき添加した試料量は $1\text{ }\mu\text{g}$ 以下であった。鳥の羽やアスファルト、アルミニウムなど、他の物質表面に添加した場合であっても同様な検出が可能であった。さらに、他の化学兵器物質に対するテストにおいても、DART イオン化法により分析可能であった。



多孔質コンクリートに添加した 788ng の American VX の検出